



私のひとりごと

熱帯魚を飼う

夜も遅くに静まりかえった我が家に帰ると、なぜか水の流れる音！？
不思議に思い居間の灯りを点けると、なんと水槽があるではないか！ 中には熱帯魚のグッピーが15匹ほど・・・。
「たく〜」、娘が買ってきたに違いない！ どの家庭でも小さな子供にせがまれて生き物を飼うはめになるが、世話をするのは親になる。我が家では、子供が大きくなった今でもその習慣が残っていて、結局の所、世話をするのは私である。

元来、私は観賞用の魚などには興味がなく、まして飼育方法など知る由もない。子供の頃、祭りなどで金魚を買って帰ると「またそんなもの買って！」と母親に怒られた苦い思い出が残っているくらいである。とは言うものの、世話係りとしては放っておかず、まずは水の入替えをする事に。洗面所でいきなり水槽に水を入れると、グッピーが白い腹を上に向け浮かびだした。「アッ熱帯魚か！」と気づき、ぬるま湯に切り替えると奇跡的にも泳ぎだした。また、水槽を洗う時には、誤って何匹か流してしまうなど、グッピーにとっては、水の入替時は命がけである。このままではあまりにも可愛そうに思われ、飼育方法を教えてもらったところ、今では随分と世話をするのも上手くなり、愛着も湧いてきた。今では家に帰ると、まずは水槽の前に行き15分ほど眺めてしまう程である。

また、先日グッピーが子供を産んだ。こうなると、ますます水槽の前に居る時間が長くなった。お客様から、「水槽の置くスペースを作って下さい」という注文をたまに受けるが、今更ながらその気持ちが分かる様な気がする。



今も家族が寝静まった居間で一人、ニュースレターの原稿を書いているが、水槽では元気にグッピーが泳ぎ廻り、またその水槽の下では長年同居している猫のゴン（名前）が、私でもめったに座った事のない分厚い座布団の上で、悠々とイビキをかいて眠っている。こうして夜更かした翌朝には、「もったいない！また電気とストーブつけっ放しにして！」と家族から小言のひとつも言われつつ、慌ただしい一日がスタートするが、その前の僅かな、まったりと流れるこの時・・・。この時間が、とてもとても居心地がいい・・・。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき・・・、

あーがしう
ごさいました!!

